

**DH SYSTEM**

大日本塗料株式会社

商品番号 3383

ML-3000上塗

1. 一般名 ビニルエステル樹脂ガラスフレーク上塗塗料
 2. 規格 社内規格
 3. 特徴 1) 耐水性、耐海水性、耐薬品性がすぐれている。
 2) 耐摩耗性がすぐれている。
 3) 厚塗り塗装が可能である。

4. 塗料性状

項目	内容				
容姿	2液性				
荷姿	16.16kgセット(主剤:16kg、硬化剤:0.16kg) 16.32kgセット(主剤:16kg、硬化剤:0.16kg×2)				
色相	グレー				
光沢	つや消し				
密度 (23℃)	塗料	1.21			
	揮発分	—			
加熱残分	100%(理論上)				
乾燥時間	温度	5℃*	10℃*	20℃	30℃
	半硬化	(18時間)	(12時間)	6時間	3時間
標準膜厚	350μm				
引火点	SDS参照				
発火点	SDS参照				
爆発限界(下限~上限)	SDS参照				

上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動がある。

硬化剤は夏型(0.16kg)、冬型(0.16kg×2)になる。

*()内は冬型(0.16kg×2)を使用した場合の数値である。

5. 塗装基準

項目	内容			
下地処理	—			
調合法	主剤:100部、硬化剤:1部、2部(重量比)			
可使用時間	5℃*	10℃*	20℃	30℃
	(7時間)	(4時間)	2時間	1時間
使用希釈剤	ML-3000反応性希釈剤			
洗浄剤	ML-3000洗浄用シンナー			
塗装方法	塗装方法	エアレス塗装		
	希釈率	5%以内		
	標準使用量	0.75kg/m ²		
	標準膜厚	350μm		
エアレス塗装条件	ウエット管理膜厚	550μm		
	1次圧	0.5MPa(5kg/cm ²)以上		
		2次圧25MPa(250kg/cm ²)以上		
ホップ比	50:1以上			
チップ	No.163-429~633(45C09~60C13)			
塗装間隔	—			

注)標準使用量は被塗物の形状や塗装条件によって異なる。

*()内は冬型(0.16kg×2)を使用した場合の数値である。

6. 施工上の注意

- 使用時には主剤と硬化剤を規定の割合に混合し、十分に攪拌して均一な塗料状態にする。
- 一度に厚く塗りつけるが、過度の希釈や必要以上に伸ばして塗布することなく、所要量を塗布し膜厚保持に努める。
- 機器の洗浄にはML-3000洗浄用シンナーを使用すること。
- 主剤、硬化剤及び混合塗料の取扱い、保管、廃棄に際しては、カタログ又は施工要領書での指示を守ること。
- 貯蔵有効期間3ヶ月以内に使用する。

7. 関連法則

	主 剤	硬 化 剤
危険物表示	第4類第2石油類	第5類第2種自己反応性物質 有機過酸化物
有機溶剤区分	第2種有機溶剤含有物	—
有害物質表示	SDS参照	SDS参照
劇物表示	—	—

8. 使用上の注意 [警告]

- 安全情報に関する内容は、SDSをご参照下さい。

使用上の注意の詳細は容器のラベルに表示。